

知恵・コツ満載

シンパシィ通信

23- 2号
1.20 発行



SYMPATHY UNION

知恵・コツをつかみ進化・成長を加速

元気に楽しく賢く生きる！



近道は人間性・精神レベルを高めること

代表取締役 松並康江

寒中お見舞い申し上げます。年が明けて3週間経ちますが、会員の皆様の新年が素敵なお幕開けとなっておりますことを願っています。

さて、当方の初仕事は、1月4日。ある企業の全社大会の基調講演でした。長谷川先生は、難しいことをわかりやすく伝える天才だと思うのですが、その日も大脳生理学と仕事とうまく知恵・コツを理解したと若い方からも言われました。

そういえば、年末に講演の担当者とお話で、企業の抱える課題についてお聞きしたのですが、「自分の担当のお客様でなかったら対応が変わる。技術者が基本的な接客ができない…」などのような人間性のことをおっしゃっていました。その話を長谷川先生に伝えると、「それは教育の問題だ。確かに育てて会社に入ってくるべきだけど、企業でうまく育てたらすぐに改善できる話だ。うちのスタッフは挨拶しなさいと言われてしてると思うか？未熟だった者も自然に変わってるだろう」…確かにそうです。問答が続きます。

「じゃあ、どうしたらそうなる？」

「精神レベルを高めて勝手にできることが増えるようにするか、徹底的に躱げるか」

「うん。でも躱げられた人間は応用力あるかな」

「躱げられたことを、やらなければならないと方法論で取ったら応用力はないと思います」

「今はもう21世紀。真のエデュケーションで人間らしく生きることができる精神レベルを高めることが提案されて然るべきだ。うちは教育研修会社だと言っているが、何を教育するところだと社長として考えている？」

「うちには様々な問題が寄せられます。健康や学力、業績、スポーツ、子育て、教育指導、人間関係と多種多様です。それは入り口であって、

そういう課題や願望目標をクリアすることを通じて、人間性、精神レベルを高めていただく教育研修を行なう会社だと考えています」

「そう、それしか社会の諸問題は解決できないし、理念を達成することなどできない。未成熟が問題を引き起こす。人間が起こした問題は人間が解決できる。それを可能にする考え方や方法はうちにはないのかな」

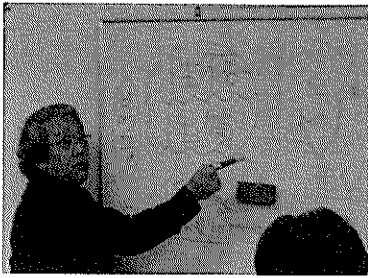
「あります。ただ、うちが何をするとところなのかやその改善に向けたソフトなどがあることを充分にお伝えできてないと反省しています…」

「あのな、社長が理解していても一番身近なスタッフはどうかな、実験してみようか」

数日後、先生があるスタッフに「うちは何をしている会社か、一言で言いなさい」と投げかけました。「能力開発の会社です」…なるほど、バクッと捉えているわけね。先生は、「シンパシィは、人間性や精神レベルを引き上げることを第一に置いている。人間性が引きあがった結果、仕事でもスポーツでもなんでも結果がついてくるんだよ。例えば、人間性が高い人が営業するのと、人間性が低い人が営業するの、どちらがうまくいきそうに思う？」と話されました。

ただ、そのスタッフが偉かったのは、「以前の私は方法論で物事を進めていくので、結果として、根本的な問題解決や自身の能力アップには繋がりませんでした。でもご指導のおかげで、人間のメカニズムや物事に対する理解が深まってくると、私の中に『気づき』が生まれ、私自身が変化しました」と言ったことでした。可能性大だ！

でも、わかっているだろうがダメですね。明確にイメージを伝えていくこと。先生をはじめ、皆様のお力を借りながら、日々精進です。

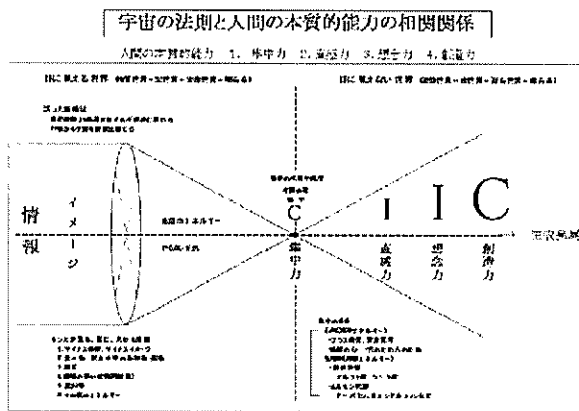


教育によって必ず問題は解決できる

ヒューマンプロデューサー 長谷川 一彌

会員のみなさん、こんにちは。

私が学校の教員時代に抱いた疑問「なぜ、人間の能力格差はこれほどまでに大きいのか」、これを検証するために高校教員を辞め、スポーツと人間の能力について研究しないかと誘われたテニス企画会社で、人間教育のあり方を大枠突き止めました。(株)シンパシィ・ユニオン設立当初からあった下の図がその考え方です。



(*本資料をA4サイズで同封しています)

上の図の左から右に真っ直ぐ伸びる線は、宇宙創生時からの本質、進化成長のラインだと思って下さい。そして、凸レンズが人間そのもの。もし、レンズが「歪んでいる」、「欠けている」、「曇っている」という状態ではレンズの機能が十分に発揮されません。つまり、ものごとの本質にピントが合いませんから、能力は発揮されないわけです。私は、どのような状況であろうと、このライン上にのせる手立てがあるはずだと研究を続けてきました。

もう10年以上も前の話です。小学2年生の男の子がお母さんに連れられて来ました。その子は発語もなかったし、手を離すとどこかに行ってしまう、上の図で言うと、レンズがかなり問題のある状態でした。でも

私はほんの少しあるレンズのきれいな部分に着目し、彼とのコミュニケーションを取る様に心がけました。結果、彼は言葉も発するようになりましたし成長してくれました。レンズのきれいな部分で付き合うというのは、長所伸展法です。人間が欠点や短所と思っているのはレンズの問題がある側。そちら側を修正しようとしてもライン上にのせることはできません。しかし、きれいな部分を使って集中させていくと、必ずレンズは大きくなっていきます。結果、短所や欠点だったことも改善されていきます。

実は、このレンズの大きさこそが精神レベル、キャパシティ、パーソナリティと言えます。小学生の時に解らなかったことが、大人になったら理解できることって多々あります。同様に、精神レベルが上がらない限りものごとの真の理解に至りません。

教育とは、精神レベルを引き上げることにあると私は核心しました。精神レベルが上がると言うのは概念構造が変わること。つまり、脳のネットワークが密になったということだと大脳生理学でわかります。この脳内ネットワークが繋がる時の条件がα波、集中状態です。そして、ものごとの集中すべき本質に集中することです。

本来日本には家庭や仕事、学校教育にも精神レベルを引き上げる人間のあり方についての教育がなされていましたが、現代社会では失われつつあります。優先すべきは知育偏重ではなく、精神レベルを引き上げる段階に応じた導きです。私は現代の様々な問題を解決するため、訴え続けています。

詳しい内容を1月度の知恵・コツセミナーで解説しています。

宇宙の法則と人間の本質的能力の相関関係

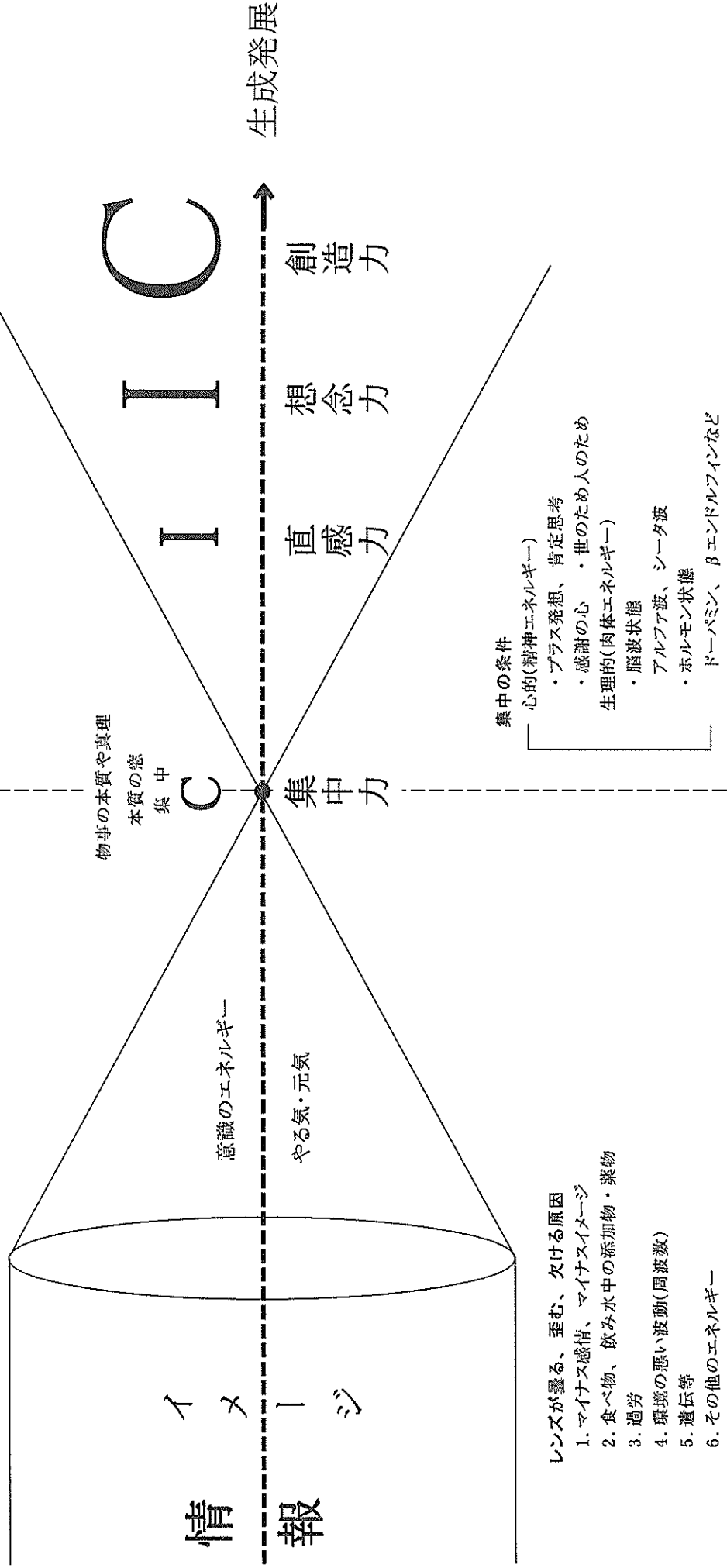
人間の本質的能力 1. 集中力 2. 直感力 3. 想念力 4. 創造力

目に見える世界 (物質世界 = 実世界 = 実像世界 = 明在系)

目に見えない世界 (波動世界 = 虚世界 = 潜在世界 = 暗在系)

誤った情報は

自然法則より軌道がはずれ不成功に終わる
目頃から不要な情報は捨てる



情報

意識のエネルギー

やる気・元気

物事の本質や真理
本質の窓
集中

C

集中力

C

創造力

I

想念力

I

直感力

集中の条件

- 心的(精神エネルギー)
- アファス発想、肯定思考
- 感謝の心 ・世のため人のため
- 生理的(肉体エネルギー)
- 脳波状態
- アルファ波、シータ波
- ホルモン状態
- ドーパミン、β エンドルフィンなど

レンズが曇る、歪む、欠ける原因

1. マイナスイメージ、マイナスイメージ
2. 食べ物、飲み水中の添加物・薬物
3. 過労
4. 環境の悪い波動(同波数)
5. 遺伝等
6. その他のエネルギー

シンパシィ・ニュース サロンからのお便り

[2010. 12. 21]

こんにちは、今日はしとしと雨の武庫之荘からMLです。

いつも長谷川先生は集中力の研ぎすましの大切さを言われますが、先日それを実感する体験をしました。

二人一組になり、一人は紙の両端を持ち、紙をピンと張ります。もう一人は、芯がピンピンに尖った鉛筆と、芯先が丸い鉛筆の先で、紙に穴をあけます。どうなると思いますか？
芯がピンピンに尖った鉛筆は、力を入れなくても紙にブスツと穴をあけることが出来ました。でも先が丸い鉛筆では、なかなか穴はあきません。そして力みが出ます。長谷川先生は、

「研ぎ澄ました鉛筆では、穴は簡単にあく。そして穴があいたら向こう(未来)が見える。集中力を研ぎすますことが、努力よりコツだということが物理的にも証明される」と、おっしゃいました。

なるほど…！

実はその時、先生は私に2つのことを話されました。

ひとつ目は、木こりの話です。そして2つ目に課題をいただきました。

「中山さん、これから毎日包丁を研ぎなさい」、「毎日包丁を研いだら、人生変わりますよ」と。

毎日包丁を研ぐ？人生が変わる？

そりゃやってみないと！そう思った私は砥石を買いに行きました。

つづく べ(°^-)



人間は 精神を磨くことでレベルを上げることができる
精神を磨くためには 鉛筆の芯を研ぎすますように
事を起こす前に心の芯を研ぎすますことが必要なのだ

「長谷川語録集」より



[2011. 1. 18]

こんばんは、今日もいい一日でしたか？

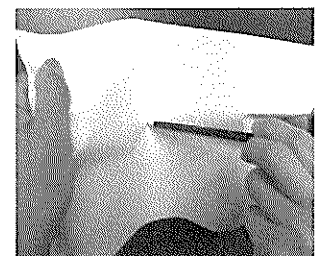
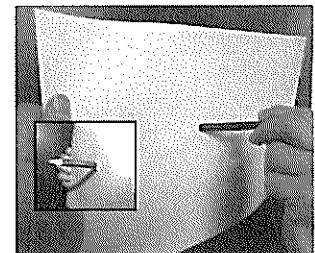
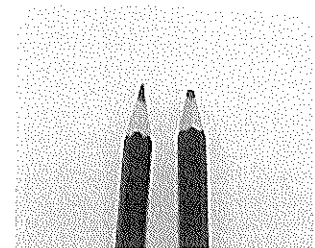
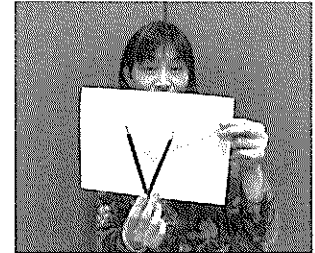
12月21日のMLでお伝えしたように、長谷川先生が「中山さん、これから毎日包丁を研ぎなさい。毎日包丁を研いだら、人生変わりますよ」と言われてから、毎日包丁を研いでいます。もうすぐ1ヶ月になります。

おかげ様で、我が家の包丁は、なんでもサクサク切れるようになりました。

そうなること切ることが楽しくて、「今日は青ねぎの小口切りを1ミリ以下の幅に切ろう！」など、ただ切るだけではなく技を磨く(?)ようになりました。あと、落ち着くんですよ、磨いていると。楽しく集中できる、そんな感じです。

楽しいですよ～♪(*^-^)/♪

ぜひ、やってみてね！
集中力の研ぎ澄まし体験
方法



上記のような内容を含めた会員限定メールを配信しております。

メール配信ご希望の方は、メールアドレス info@sympathyunion.jp または、右記QRコードを携帯で読み込み

送信ください。[メール件名に「配信希望」と文面に「お名前」を記入して送信ください。]

